



平和学習

太平洋戦争（原爆/空襲）・沖縄戦・ドラマ『島田叡』を通じて、「平和」とは何かを学習しています。単に「戦争」の反対側に「平和」があるのか、それとも「平和」は人の心の中にあるのか、もう一度、じっくりと考えてみましょう。

現在の日本は、平和と（ 言える ・ 言えない ・わからない ）

言える 自分たちが生きることが出来ていて、安心して暮らせる場所があって、食べることが出来ているから。病気やケガをした時に、すぐに手当てをしてもらえるから。生きることが出来ている 幸せを感じられるから。

戦争は二度と起こってはいけないと理解する人がたくさんいるから。戦争の残酷さ・命の尊さを知っているから。

平和だから、こうやって学べている（平和学習）。時代によって平和の基準は違うけど、その基準が変わったのは、やっぱりこの沖縄戦を乗り越えた戦争を経験した人のおかげだから、素直に平和であることに感謝して、次は「日本」ではなく、「世界」が平和と言える世界を目指そうと思えば良いと思う。今は平和であることに感謝をして、この平和を永遠につなぎたいです。

言えない このことを体験し、話してくれる人がどんどんいなくなって、昔のことになって来ているし、周りの人を巻き込んで死ぬ人や自分の命を大切にしない人が多すぎるから。外国に比べれば、比較的まだ安全といえる国かもしれないが、平和だとは胸を張って言えない。

戦争をしていた頃よりかは平和になったとは言えるけど、現在の日本は、まだまだ平和

とは言えないと思います。私が思う平和は、国民みんなが幸せと言えたらなので、いじめや差別がある現在はまだ平和じゃないと思います。（6組:本杉さん）

今は昔と比べて、外国との関係も良く、日本と外国との争いはないけど、日本のことだけを考えると、部落差別や小さいいじめで亡くなっている人が多いので、まだ日本は平和ではないと思いました。

わからない 今の日本は、戦争をしていないので、昔の日本と比べて安全なので、その面では平和と言えるが、戦争を経験していないので、本当の平和の意味を知らないから、本当の平和の意味を知ってこそその平和だと思う。

戦争の影響で知らない人たちにも、平和学習で伝わってきているけど、まだ残っている地雷などもあるから、まだ確実に安全とは言えないと思う。

ずっと平和じゃないと思っていたけど、沖縄戦の様子を見て、他の戦争も酷かっただろうし、それと比べたら、現在はすごく平和で、ご飯とかも食べられて平和だと思う。でも、戦争は終わったと宣言とかはされたけど、不発弾が残っていたり、米軍基地が残っていたり、トラウマが残っていたりするし、そのことを考えると戦争は本当に終わったのか、終わるのかと思ったから。

戦争をしていないという点や他のもっと貧しい国などと比べたりして言えば、平和だと言えると思うけれど、私には見えていない実情や大変な思いをしている人々が日本にいるかもしれないと思ったから。

「島田叡の紹介」

アジア太平洋戦争末期。すでに日本軍の敗色濃厚だった1945年1月31日、沖縄県知事として島田叡が着任した。前年の10月10日、米軍による沖縄大空襲によって那覇は壊滅的な打撃を受け、行政は麻痺状態に陥っていた。そんな中、内務省は新たな沖縄県知事として大阪府の内政部長であった島田叡に白羽の矢を立てた。辞令を受けた島田は、家族を大阪に残し、ひとり沖縄の地を踏んだ。軍は県民も玉砕だなどと言っているが、私は何としても県民を守らねばならない。知事就任と同時に、島田は大規模な疎開促進、食料不足解消のため自ら台湾に飛び、大量の米を確保するなど、さまざまな施策を断行。米軍が沖縄本島に上陸した後は、ガマを移動しながら行政を続けた。だが、戦況の悪化に伴い、大勢の県民が戦闘に巻き込まれ、日々命を落としていく…